

2016年2月5日

各 位

会 社 名 アキュセラ・インク (Acucela Inc.)
代表者の役職・氏名 会長、社長兼最高経営責任者
窪田 良
(コード番号 4589 東証マザーズ)
問 合 せ 先 アキュセラ・インク (Acucela Inc.)
日本事務所 ディレクター 須賀川 朋美
(TEL : 03-5789-5872 (代表))
代理人の ベーカー&マッケンジー法律事務所
住所・氏名 (外国法共同事業)
弁護士 高橋 謙
(TEL : 03-6271-9900)

2015年12月期決算発表および決算説明会のお知らせ

網膜疾患の治療薬開発に取り組むアキュセラ・インク（米国ワシントン州シアトル市、以下「当社」といいます。）は、2015年12月期決算発表および決算説明会の日時を決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1 : 2015年12月期決算発表

2016年3月9日（日本時間）に2015年12月期決算発表を行います。

当社は、2015年3月29日に2014年12月期決算と同時に公表した「2014年12月期決算短信の開示が期末後50日を超えたことに関するお知らせ」において、決算期後50日以内に情報開示を行うようお知らせしてまいりました。その後、さらに当社は決算発表の早期化の観点から、決算短信について決算期末後遅くとも45日以内での開示に向けた体制で決算作業を行ってまいりました。体制構築の一環として、新たに最高財務責任者を迎えると共に開示担当者、経理責任者を採用し社内体制を構築してまいりました。また、新たな会計システム (SAP Business One) を導入し、経理・財務のプロセスの刷新を図ってまいりました。しかしながら、2015年12月期決算短信につきましては、米国証券取引委員会 (SEC) への年次報告書 (Form10-K) の準備及び翻訳作業に想定以上に時間を要したことから、決算短信の開示が決算期末後50日を超えるに至ったものであります。

当社は、今回の決算開示が遅延することを厳粛に受け止め、2016年12月期以降の開示時期につきましては、決算発表の早期化の趣旨を理解し、決算期末後45日以内に確実かつ迅速に情報開示を行うよう決算業務を実施してまいります。

2：2015年12月期決算説明会

2016年3月29日（日本時間）に決算説明会を行います。

当社は、メディア、機関投資家およびアナリストを対象に決算説明会を開催いたします。なお、決算説明会へご出席を希望される方は事前登録が必要になります。登録につきましては、当社日本事務所（03.5789.5872）までお問い合わせ下さい。

この説明会の模様は、説明会終了後当社ウェブサイトにて配信されます。

以上

アキュセラ・インク(Acucela Inc.)について

アキュセラ・インクは、世界中で数百万人の人々に影響を及ぼしている、視力の低下をまねく眼疾患を治療または進行を遅らせる可能性のある革新的な治療薬の探索および開発に取り組んでいる、臨床開発段階のバイオテクノロジー企業です。当社と大塚製薬株式会社は、現在、当社が独自に創製した視覚サイクルモジュレーションに基づく地図状萎縮を伴うドライ型加齢黄斑変性の治療薬「エミクススタ塩酸塩」および高眼圧症または開放隅角緑内障に対する治療薬「OPA-6566」の共同開発契約を有しております。www.acucela.jp

免責事項

本資料は関係情報の開示のみを目的として作成されたものであり、有価証券の取得または売付けの勧誘または申込みを構成するものではありません。本資料は、正確性を期すべく慎重に作成されていますが、完全性を保証するものではありません。また本資料の作成にあたり、当社に入手可能な第三者情報に依拠しておりますが、かかる第三者情報の実際の正確性および完全性について、当社が表明・保証するものではありません。当社は、本資料の記述に依拠したことにより生じる損害について一切の責任を負いません。

また本資料の情報は、事前の通知なく変更される可能性があります。

本資料には将来予想に関する見通し情報が含まれます。これらの記述は、現在の見込、予測およびリスクを伴う想定（一般的な経済状況および業界または市場の状況を含みますがこれらに限定されません）に基づいており、実際の業績とは大きく異なる可能性があります。今後、新たな情報、将来の事象の発生またはその他いかなる理由があっても、当社は本資料の将来に関する記述を更新または修正する義務を負うものではありません。